

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		文書事務費[市政情報コーナー]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 2	文書費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	文書 課 文書 係					課長名	嶋田 淳				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 3			
【施策名】 市民自治の向上							総合計画書(ページ)	127			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				→ 全市民						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	市民に市政情報を積極的に提供し、①市政に対する関心を深め、②協働による市政運営を図る。				→ ①来場者数(1か月当たりの概算) ②有償刊行物販売数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	市民が、市政に関するすべての情報をいつでも入手できる場所を確保する。				→ 蔵書(資料)数						
	対象指標		①の数値	人	約86,000	約86,000	約86,000	/		/	
成果指標		②の数値	①人 ②冊	①100 ②1	①100 ②1	①100 ②1	/		/		
目 標		②の目標値	人	100	100	100	100	100	100		
		目標値設定の考え方 市政情報の積極的な提供を行う。									
活動指標		③の数値	冊	3,156	3,259	3,285	/		/		
3 経費	事業費(実績)		円	1,022,584	1,054,612	1,124,952	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,002,680	1,035,992	1,102,442					
		特定財源(国・都・他)	円	19,904	18,620	22,510					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	1,846,984	1,885,612	1,962,952						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成24 年度								
	(2) 環境の変化		行政情報コーナーの充実の要望があり、市政情報コーナーとして平成24年9月に、本庁舎3階文書課北側に開設。スペースを広げ本棚を設置、閲覧用机も大きくし、電子複写機を設置した。また、市の有償刊行物の販売も行っている。このため、市の刊行物については概ね市政情報コーナーで閲覧できる。								

事業名称	文書事務費[市政情報コーナー]			
担当部署・課長名	文書	課	文書	係 課長名 嶋田 淳

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	今後も各課の刊行物を速やかに市民に提供できるようにする。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	市政情報コーナーに設置できる市政資料について、速やかに提供する旨の通知を年度当初に送付しており、引き続き実施した。また、提供がされない資料については、随時担当課に連絡し提供依頼をした。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
今後も各課の刊行物を速やかに市民に提供できるようにする。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 市民自治の向上				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 課で保有する刊行物を、速やかに市政情報コーナーへ提供させるよう努める。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
各課へ、刊行物の提供依頼の通知を行うとともに、文書課合議で決裁が回った刊行物に当たる文書について、随時市政情報コーナーへの提供を呼びかける。				